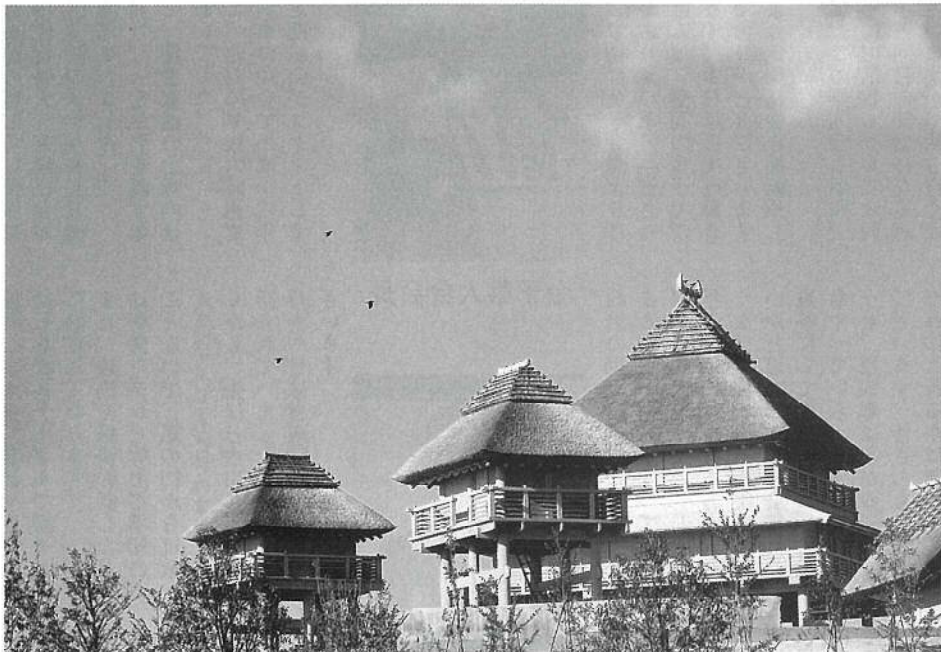




福岡市佐賀県人会会報



国営吉野ヶ里歴史公園 三田川町

目次

表紙 国営吉野ヶ里歴史公園 三田川町	
平成16年度 総会	2~3
ふるさとの首長・ふるさと紹介 三田川町 江頭正則町長	4
新役員紹介(就任のご挨拶)	5~7
新役員名簿	8
理事会よりのお願い 事務局だより・会員作品募集	9
佐賀県だより 佐賀新聞社提供	10~11
佐賀県立佐賀城本丸歴史館・編集だより	12

49

2004.7

この後、議事に移り、山下代表理事より、平成十五年度の業務報告、収支決算と監査、並びに十六年度の予算案が一括して審議され古賀監事の監査報告と共に、満場一致で了承されました（近來希に見るスピードでした）。

さて、続いて新理事・監事の紹介があり、（別ページに掲載）金子会長より委嘱状が渡されました。また、本日を以って退任される山下代表理事と、



第14代
今泉今右衛門氏



佐賀県人会顧問
山崎 拓氏

続いて、県議会からは、田中久也、武藤英治、堀宏行、大原弥寿男（代理）、原竹岩海の五氏がお見えになり、更に福岡市議会より川上義之、南原茂、小島久弥、森山英樹の四氏、そして大宰府市より岡部茂夫、橋本健の二氏にお出で戴きました。



藤間豊智恵さん



井浦副会長

さて、総会も近年希に見る速さで終了し、いよいよ懇親会に突入ですが、その前にさらに光輝く（？）清村理事にパトントッチされました。

まずは、藤間豊智恵さんの祝舞でうたげを祝い、続いて井浦副会長の「最近の出席者を見てみると、顔ぶれは多士済済となり、心強いばかりです」とのご挨拶があつて乾杯となりました。



山下代表理事

【懇親会の部】
さて、総会も近年希に見る速さで終了し、いよいよ懇親会に突入ですが、その前にさらに光輝く（？）清村理事にパトントッチされました。

まずは、藤間豊智恵さんの祝舞でうたげを祝い、続いて井浦副会長の「最近の出席者を見てみると、顔ぶれは多士済済となり、心強いばかりです」とのご挨拶があつて乾杯となりました。

懇親会風景のスナップです。

半年振りの再会です！今年也大勢の会員に参加してもらいました。



この日はやはり議員の先生方もノンビリです。でも、7月11日の投票日が気になるのでしょうか、顔は結構真剣でした。



青柳克彦氏率いる「青龍太鼓です。まず、オープニングで「鬼神」を披露、次に武田信玄ゆかりの「玄舞」、続いて「龍神」を演奏していただきました。会場内は乾いた太鼓の音が充満し、皆さん真剣に見入っていました。



いよいよ、時間も押し迫ってきました。中締め時間です。司会の清村理事から「みなさん、これから栄の国を踊りますので、会場一杯に広がって手をつないでくださーい！」との一声で恒例の「総踊り」が始まり、童心に帰って無心に手を振っていました。そして、永倉副会長の万歳三唱で、平成16年度の総会を終りました。

福岡市佐賀県人会定期総会

平成16年6月11日(金)

於KKRホテル博多



金子県人会会長

季節外れの台風4号が接近して、天候が危ぶまれましたが、どうにか持ち越して、恒例の福岡市佐賀県人会定期総会が中央区薬院のホテルKKR博多で開催されました。

例年通り、一七〇名を越す参加者で、開会直前の会場内は大賑わいでした。

さて、定刻の午後六時過ぎ井上理事の司会で平成十六年度の定期総会がスタートしました。



古川佐賀県知事

ります。現在五〇〇名の会員の方々が登録され、総会を開催致しますと、昔話や地元の話など各テーブルで賑やかに話されております。

また、政治や経済の話などは新聞やテレビ等でご承知のことなので、私の口からは敢えて言うこともありませんが、しかし、先ほど古川さんがお話されていたように、七月十一日は参議院の投票がございます。



平間和俊理事
(土地開発公社)

さて、今年はギリシャで夏季オリンピックが開催される予定で、福岡や佐賀県内からもいろいろな選手が参加されると聞いております。

従って、私ももうこういう人たちの応援もしたいと思っております。

一方で、道路情報を見てみますとこの福岡から唐津や嬉野などは一時間少しあれば行ける距離で、県名は違っても殆ど同じ関係にあるのではな

まず、最初に金子会長よりご挨拶がありました。「皆さん、こんばんは。会長の金子でございます。本日はご出席戴きましてありがとうございます。これより定期総会を開始致します。

さて、この県人会も昭和二十六年に復活致しまして今年で五十三回目の総会になる訳でございますが、私も亡くなられた永倉会長から引き継ぎまして今回で二十四回目にな

政治の世界は選挙によって決まる訳で、何方がなっても不思議ではありません。しかし、年々投票に行かれる方が少なくなっているのも事実ではないかと思えます。市会議員の選挙にしてもご本人は一生懸命やっていますが、投票率の方は下がっている一方でございます。皆さんもどうかだれに入れるかは別にして投票に行かれるようお願い致します。

からうかと思う次第でございます。従いましてこのような年二回の会合を有効に利用して戴きたいと思えます。

この後、いろいろと議事もございまして、長らくならないように終わらせて戴き、冒頭に際し開会のご挨拶とさせていただきます。

続いて、来賓のご挨拶に移り古川佐賀県知事からは、この八月にオープンする佐賀城本丸歴史館の紹介、究極のラ

からは、一昨年二月の十四代襲名のお礼と十四代としての作品をいかに作り上げるかに苦心している、と話されていきました。このほか、今年もたくさん議員や来賓がお見えになり、まず佐賀市の上野収入役、佐賀銀行の深牧専務、博多座の松本顧問、衆議院からは保利耕輔氏、参議院からは陣内孝雄氏が、多久市からは横尾俊彦市長がお見えになりました。

一メン鉢の共同開発、市町村合併の流れなどのお話があり、次に福岡市長の代理として土地開発公社の平間和俊氏より、集客産業の振興をキーワードに国際集客文化都市を目指したい、と市長のメッセージを代読されました。

また、顧問の山崎拓氏からは「福岡と佐賀が共にアジアの拠点として発展することを期待したい」とご挨拶があり、今回初参加の今泉今右衛門氏

顧り見れば、平成五年に感性豊かに、出合いと郷土愛を求めて…と新理事の挨拶を申し上げて早や、十年を越えた今日、金子会長より計らずも代表理事としての委嘱状を、拝受賜り更なる重責を感じている次第です。実は昨年より理事会議のある毎に、前山下代表理事を始め他の皆様より推薦を賜りながらも、多々理由を中上げながら、おことわりを続けて参りましたが、元来弱体で一病息災もありましてや受諾出来る器でもござ



就任のご挨拶

代表理事

沢村 利次

鶴亀 薬局

いせんからとも申し上げましたが、常任理事の方からも、薬の中で仕事しているのにそんな理由は理由にならない云々の叱咤激励され結局は「薬局」だよと、全理事からの押しやられたと言うか寄り切られた格好で恐縮しているところです。あえて、私の心中を申し上げます。私自身今回の受託は、暫定的なものとして止めて現理事の中から一年でも早く私を引き継ぎ出来る人材をお願いしたい心境でいっぱいです。そういう人物人格者が今回新理事として、勢揃い出来たので心強く期待はしているところです。更にはそれぞれ個性豊かで、溢れる情熱と英知を備え持っており、豪華メンバーで、

佐賀県人会の発展と親睦に、新風を吹き込んで頂き今以上に極め仲良く団結し精進したいと思っております。日本経済も長い不況からの脱皮もいまだおぼつかない状況が続いておりますが、常に時代の背景を考慮しながらも、御協力と御支援を賜りたく、心から感謝願するものです。福岡在住の我々は先ずは福岡の地場の為に貢献し奉仕を怠る事なく、努力をおしまないことではないでしょうか。発展に寄与し感謝される佐賀県人にならなければ信頼は生れないと思っております。要するにギブ&テイクで先ずは相手様のためになる事に尽くすこと、そして嬉ばれてこそ自然に自分へ還元されるものを忘れず心から敬愛つくす事ではないでしょうか。仕事にしても、恋愛にしても、人々との交流にしても、すべてが誠実な心で「ハート」なくしては人間淋しいものです。その点現在の日本人の心もある面では軽

薄なものになちがちです。子供も大人の背姿をみて成長するものです。現代は子供達だけじゃなく大人までどこか狂っている面もある様です。社会も家庭もいい方向へ進んでいけばいいのですが、どこかにひびみがないとは言えない事もあるかも知れません。いづれにせよ口幅つたい事を申しのべましたけど、私を含んでの人間として大人として、いや、佐賀県人として、難しいことかも知れませんが恥しくない、他県からみても羨望の眼差しでみられる様な福岡在住の佐賀県人会の人間として、未来に夢を託して共に頑張ります。それには「無理」なく「無駄」なく「むら」もなく、同志敬愛を合言葉にそう祈願して止みません。最後に新代表理事としての挨拶にはほど遠い乱文になりましたが、心はひとつに皆様の御健勝と発展と御多幸を御祈りしつつとりとめのない挨拶と致します。

合 掌

トヨタ最小! プチトヨタ

パッソ デビュー!

女性にいいクルマ、できました。

あなたの街の
トヨタカローラ福岡
本社/福岡市中央区長浜2丁目1番5号

0120-419331 (県内のみ)

パッソは
94.5
万円から

※1.0 X "Vパッケージ" 4速オートマチック2WD車の車両本体価格です。 Photo: X 2WD

ふるさとと首長



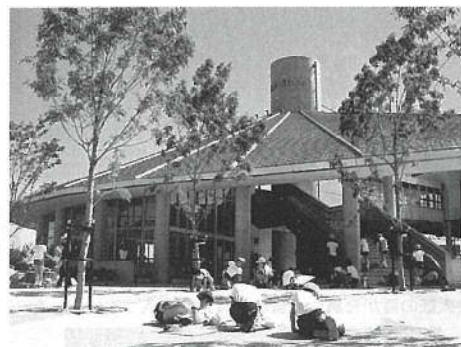
三田川町
江頭 正則町長

「笑顔のあるまちづくりを目指して」

この度は本町紹介の機会を賜り、本当にありがとうございます。三田川町は佐賀県内で2番目に小さな町です。地図の上を「あれ、どこかな?」と目を凝らし、指先で探す方もおられるのではないのでしょうか。そんな町ですが、「吉野ヶ里遺跡、国営吉野ヶ里歴史公園のあるところ」と言えば、どなたもご存知のことと思います。今年4月には公園内で皇太子殿下をお迎えし、「みどりの愛護の集い」を全国の皆様とともに盛大に開催することができました。心よりお礼を申し上げます。

さて、本町は昭和20年代から農・工・商調和のとれた町づくりを目指してきました。その結果、恵まれた地形や交通体系の利便性なども手伝って20社以上の企業に進出いただき、また、陸上自衛隊目達

福岡市から真南、直線距離にすると30キロメートルのところに位置する三田川町は、南北に細長く、おおむね平坦で、北部は背振山ろくの流に連なり緩やかな斜面で形成され、南に豊かな農地を育んでいます。背振山より発する清らかな水は、町城西に田手川、東に井柳川の流れを形成し、古くから町内の田畑を潤してきました。町域は東西約3・4キロメートル、南北約6・9キロメートル、面積10・85平方キロメートルと佐賀県内では2番目に小さな町ですが、町の中心部をJR長崎本線と国道34号が東西に並行横断しており、佐賀市鳥栖市、久留米市のほぼ三角中心点に位置し、それぞれ約13キロメートル内外、車で30分程度の距離です。



から積極的に企業誘致に取り組む、現在では佐賀東部中核工業団地、立野工場団地を中心に20数社が操業しています。また、昭和29年には陸上自衛隊目達原駐屯地が開設され、進出企業と

さらには、国道385号を介して長崎自動車道東脊振ICから約5分と交通は至極便利です。当町は戦後まもなくの頃

ふるさと紹介

三田川町

ともに地元にも多大な経済効果をもたらしてきました。ソフト面では町中心部にある総合福祉保健センターや中央公園などを拠点として、町民の健康づくり、健康増進のための教室や事業等に積極的に取り組んでいます。さらには、平成元年の遺跡発見報道から平成13年4月には国営吉野ヶ里歴史公園が一部開園と、学術的にも観光的にも全国から注目されています。また、今年11月には本町最大のお祭り「吉野ヶ里炎(ひ)まつり」の公園内開催を予定しています。ぜひ一度吉野ヶ里歴史公園に学び、遊びにおいでください。JRをご利用の際は、鳥栖駅で長崎本線に乗り換え、約15分で吉野ヶ里公園駅下車。季節ごとに色合いを替える田んぼをゆつくり眺め、語らいながら、のんびりと、弥生人の声が聞こえてくる、かもしれません。

子どもたちの画題は、吉野ヶ里公園駅

遠くに行つた

古里を再び

理事 鶴崎 剛



早いもので私が古里鳥栖を離れて五十年程になり、まさに「光陰矢の如し」とは、この事のようにです。

そんな中で佐賀県人会に入る機会があり、いろいろな方々と知りあうことができ、楽しい一時を過ぎて、私の活力になりました。

ひところの福岡市は、元氣な街として全国的に脚光を浴びていましたが、その元氣を支えているのは案外佐賀県人ではないかと総会などに出席して感じた一人です。

この度は、鳥栖の先輩の沢村さんからの推せんでも理事に就任する事になりました。

これを機会に古里を再び身近にとらえて、佐賀県人の心意気を会員の皆様と一緒に広

めて行ければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

“和”をもつて

事となす

理事 貞方 弘道



この度、福岡市佐賀県人会総会に於いて、新理事に選任され大任を引き受けることとなりました。

微力ですが会のために少しでもお役に立ちたいと思っております。

今後共よろしくお願い致します。

思えば県人会の五十周年、多くの人が集まり盛大でした。特に各市町村の生産者は熱心で、「真昼の朝市」出品は活気にあふれどこの物産展より優れていて今でも心に残っております。

現在、佐賀県二十日会を初めあらゆる会に出席していま

すが、そこでの出会いはすばらしく有意義なものです。

人生何が起るか分かりませんが、良い人達に恵まれて楽しい日々を送っております。

しかし、他面世の中、争いが断えません。もつとお互いが“和”をもつて相手の立場になって考えれば、きつと良い糸口があると思つて止みません。

一役をさせて

頂きます

理事 田中丸 真輝



この度、佐賀県人会総会において理事に推薦を頂きました田中丸でございます。

そもそも今回の理事の件も「真昼の朝市」で一役をさせて頂きましたことから、井上理事よりお声を掛けて頂きましたのが縁かと推察します。

県人会には佐賀県に少しでも係わりがある人々を暖かく

受け入れてくれる大きな包容力がございます。斯く云う私自身佐賀との係わりは子供時代の10年間と大変短かいのですが、本籍が牛津町で、現在母親が佐賀市内で健在な事から参加させて頂いております次第です。

福岡市には佐賀県に何らかの縁がある方が多く在任されているかと思ひます。一人でも多くの方へ県人会を紹介し参加して頂く事が私の役目と思ひ、若輩ではございますが、お世話係を引き受けさせて頂きました。県人会が会員相互のますますの親睦の場となり、更なる発展を続けられますようお手伝いさせて頂きます。

佐賀を大切に

ふるさと

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に

佐賀を大切に



於いて新理事に選任されました。私が新理事の中で一番若いものではございますが、選任された以上は頑張る所存です。

私は50周年「昼間の朝市」の脊振村と神埼町の担当で出展先の手配と当日のお世話をさせて頂きました。当日の朝市に来られたお客様の賑わいは、主催者側及び出展された市町村の方々も大変喜ばれましたことに感激しました。

佐賀県にはまだまだ知られていない文化や観光があると思います。自分たちが生まれ育った地域はある程度認識していますが、その他は行ったこともない所も沢山あると思います。自分たちが生まれ育った郷土を再認識し、佐賀の方言などを使われて楽しい社交場となるように利用して頂いてもらいたいかがでしようか。

県人会に若い世代も参加され、今後とも県人会の発展と会員相互の親睦の場になるように努力させて頂きたいと思っております。

私の抱負

理事 木下 和則



この度、平成十六年度の総会において計らずも新理事に選任されました神埼郡三瀬村出身の木下和則と申します。

新理事に推薦頂き身の引締る思いで一杯です。

現在、福岡市在住佐賀県人会は活発な活動が行われており福岡市の発展は、佐賀県人福岡市在住の方がきずかれたと自負しております。

これも今日までの役員の方々そして事務局の方々が長年にわたって粉骨砕身常に奉仕の精神をもって築き上げられたものと心から敬意を表しております。

私の入会時も人格者であり、現在も常任理事の田中則雄様より新理事の話があり、再度のお願いがありましたので、私も理解をし三瀬地区他の友

人を一人でも多くの方に入会していただき、活発な楽しい県人会活動をより一層盛り上げ会員相互の益々の親睦を深めて頂きますよう献身的に、頑張つてまいります。

どうか皆様の御指導を宜しくお願い致します。

就任の御挨拶

理事 大宅 康弘



この度、県人会のお世話をさせて頂きたくことになりました大宅でございます。

出身は武雄でございます。

さて、私は今までの人生の半分以上を古里を離れていまして、転勤で住居を転々として仮住居の生活でした。したがって、心はいつも古里へ、人一倍、佐賀をなつかしむ者と思っております。人と出合い、テレビ等を観て佐賀という言葉に、お、という感じ、心がときめ

きます。やっぱり佐賀もんですね。

ところで、この会には今まで縁がありませんでしたが、同郷の皆さんの話によると、他の世間にはない気楽な、素敵な交流があるとのことでした。同郷の者同士の気心ある交流ですね。

私もそういう交流は楽しみであり、お世話もさることながら、そういうムードの中に身を置くということも生きている喜びの一つであると思ひます。

どうか、皆さんと一緒に会の発展を目ざし、同田同耕でやっていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

理事就任の御挨拶

理事 中島 牧雄



平成16年度総会において、「うれしの福岡会」会長、井

上説蔵様の御推薦により、僭越ながら、理事と云う大役をお引き受け致しました。

鹿島市出身の中島でございます。

私事ではございますが、昨年（15年7月1日）現在の会社（川本工業九州支店）に7年ぶり、転勤で戻りました。

そもそも、鹿島市を離れて、約40年が経過し、故郷を、恋しく想う年齢になったのかなあ、と思ひます。今回理事として、福岡市佐賀県人会の将来に向かって、何か一つでもお役にたきたいと思ひで、微力ながら、諸先輩方の御指導を得ながら、頑張つてまいります。所存でございます。

どうか、宜しくお願ひ致します。

県人会発展の一助に

理事 馬場 健次



ある日突然、県人会の役員推薦の打診を受けました。思うに去る五十周年記念行事の折に、ボランティアとしてお手伝いをしたのが発端のようです。私も入会以来これまで役員はじめ会員の皆様から暖かく受け入れていただき、この辺りで私に出来ることであれば、何らかの形でお返しをさせて頂きたいと考え、お引受け致した次第です。

いざ蓋を開けて見ると「監事」と云う役どころ。お祭り好きの私には「幹事」の方が適役だと思つたのですが、

監事となると民法第五十九条の職務を行なうもので、その重責にこの細い身が、さらに引締る思いが致しております。

しかし一旦お引受けしました以上は、微力ではございますが、伝統ある佐賀県人会の健全運営と益々の発展の為に、全力を尽す決意でございます。事に当つては、ただ結果だけを云々せず、日頃皆様方とも意思の疎通を計りつつ努めて参りますので、何卒よろしくお願ひ申しあげます。

まず、規約に登場いたします維持会費と維持会員についてご説明いたします。福岡市佐賀県人会は五十四年間維持されてまいりました。この維持のための経費に当てられるのが維持会費で、それを収めていただいている会員さんが維持会員ということとなります。

つぎに、維持会費の便途は、毎年の総会、新春懇親会などの案内状、機関紙「むつごろ」の製作と送付、会員名簿の製作と送付、維持会費の納付依頼の送付など、ほとんどが事務経費です。毎年の総会、新春懇親会などの行事ではそのつど会費をいただいておりますのでこれは別です。

なにも、維持会員ではないから会員ではないというわけではありません。とくに、総会、新春懇親会などにはできるだけたくさんの方々の

にご出席いただき、たとえ初めての方とか佐賀県とは無縁の方でもゲストとしてどんどんお誘いください。一方、現在の財政状況はなかなか苦しく、全会員さんへの機関紙や名簿の製作、送付費用も思うにまかせません。

そこで、理事会では次のように考えております。

1. 過去三年以内に一度も納金されなかった場合には、自動的に維持会員ではなくなったものとみなされる。
2. 総会、新春懇親会などの案内状、機関紙「むつごろ」、会員名簿、維持会費の納付依頼書の送付は維持会員にかぎらせていただきます（もちろん、これらのすべては維持会費で賄われておりますので）
3. 会員名簿には維持会員のみが記載される。



退会届が出されないかぎり、現会員名簿には長年の間には住所移転などによりご自身では退会したものと考えておられる方々も相当数混じっております。返送される郵便物も増えました。このままでは、維持経費の破綻が目に見えておりますので。

以上、来年の総会には理事会案として正式に提出し皆様方のご承認をいただきたく存じております。事情ご高察のうえ、早速維持会費の納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

理事会より維持会費納入のお願い

事務局だより

福岡市佐賀県人会の役員として永い間お世話いただきまして、代表理事山下廣人様・監事久保悦次様・理事（事務局）落合良太様がこの度ご退任なさいました。

本当にお世話になりました。有難うございました。厚く御礼申し上げます。

会員の作品を
お待ちしております

「会報むつごろ」の紙面を通じて、相互交流を深めましょう。

創作、随想、釣り自慢、レジャー紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの発表会——なんでも歓迎しています。

絵画、書、造形作品などの場合は写真をお送りください。

おまちしています。

投稿作品には、テーマ、住所・氏名・年齢・職業（学校・学年）出身地を記入してください。

安全の基本です、
「整理・整頓」。



GENIO-R



GENIO-E



GENIO-B



GENIO

私たちは、物流の問題を解決するパートナーです。

TOYOTA L&F

トヨタL&F福岡

本社
福岡市博多区東比恵4丁目5-14
TEL 092-475-4009

・福岡・博多港

新役員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	出身地	職 業
会 長	金子 宜 嗣	唐 津 市	昭和グループ代表
副 会 長	辻 長 英	鹿 島 市	九州建設(株)相談役
〃	指 山 弘 養	鹿 島 市	(株)佐賀銀行会長
〃	森 泉	佐 賀 市	森循環器病院院長
〃	永 倉 遵五郎	佐 賀 市	(株)佐電工社長
〃	井 浦 順 爾	川 副 町	(法)筑紫女学園理事長
代表理事	沢 村 利 次	鳥 栖 市	鶴亀薬局社長
常任理事	田 中 秀 男	伊万里市	(有)タナカ会長
〃	太 田 勇 吉	嬉 野 町	太田製菓(株)社長
〃	田 中 則 雄	伊万里市	(株)昭和設計専門役
理 事	井 上 浩 輔	小 城 町	(株)ニューホーム企画社長
〃	水 間 繁 俊	鹿 島 市	平和楼本店部長
〃	清 村 克 行	小 城 町	(有)アーバン企画社長
〃	井 上 説 蔵	嬉 野 町	(株)美 光相談役
〃	嘉 村 博	富 士 町	(株)三洋建設社長
〃	鶴 崎 剛	鳥 栖 市	博多港サイロ(株)常務
〃	貞 方 弘 道	多 久 市	京阪神不動産(株)所長
〃	田中丸 真 輝	牛 津 町	秀巧社印刷(株)副社長
〃	高 島 尚 人	脊 振 村	梅林建設(株)福岡支店営業課長
〃	木 下 和 則	三 瀬 村	(株)照 設社長
〃	大 宅 康 弘	武 雄 市	朝日航洋(株)九州支店理事
〃	中 島 牧 雄	鹿 島 市	川本工業(株)九州支店支店長
〃	永 田 健 生	唐 津 市	昭和商事石油(株)管理本部長
監 事	古 賀 利 治	久保田町	
〃	馬 場 健 次	武 雄 市	(株)九建設技術顧問

佐野記念館に

「観光丸」の模型寄贈

◎：諸富町出身で、北九州市の模型作家上村政利さん(72)が、川副町の佐野常民記念館に日本最初の蒸気軍艦で佐野が艦長を務めた「観光丸」の模型を贈った。黒い船体に外



生から六年生までが手分けして、川辺に散乱している空き缶やお菓子の包み紙などのごみを丁寧に拾い集めた。元氣さ余って、川の中ですぶぬれになる子どもも出た。
 同作戦はホタルのシーズン前と秋の二回行う同校の恒例行事で、今年で十年目を迎えた。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより



輪を持った特徴を再現しており、模型は十月に新築、移転オープンする新館二階の展示室に飾られる。
 観光丸は幕末にオランダ国王から幕府に贈られ、幕府から佐賀藩に海軍教育船として貸し出された。現在の川副・諸富両町にまたがる三重津海軍伝習所で練習艦として使われた。佐野は三年間艦長を務めている。
 模型は約五十分の一サイズ。全長一メートル十五センチ。クスノキやヒノキを使い、煙突や砲台など細部まで精巧に作られている。
 上村さんは船の模型制作歴五十五年で、これまでに

百五十隻以上を作っている。観光丸の制作ではオランダ大使館から資料を取り寄せ五カ月かけ忠実に作った。上村さんは「資料を取り寄せながらの作業は大変だったが、ふるさとの子どものためにになれば」と話している。
 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
やまびこの湯、来場者200万人達成
 ◎：三瀬村の村営温泉「やまびこの湯」の来場者が、二百万人に達した。公営の温泉施設としては県内でも先駆けで、福岡県に近い立地や豊かな自然環境が人気を呼び、リピーターも定着。当日は館内で記念イベントがあり、二百万人目の来場者らに村の特産品が贈られた。
 やまびこの湯は村がふるさと創生事業を利用して整備を進め、一九九六年に開館。国道263号沿いにある立地や、新鮮な農産物を販売する産直販売所を併設することもあり、福岡からも多くの利用者が訪れる。現在、敷地内の

古民家を改造した「やまびこ交流館」に「農村レストラン」の開店準備を進めている。
 高島勝美村長は「施設も開館から九年目。よりサービス向上に努めたい」とあいさつ。藤井さんは「偶然来てみたけど幸運でした。自然が豊かで気持ちがいいですね」と笑顔だった。
 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
防犯ビデオを保護者ら制作
 ◎：犯罪から子どもたちを守るうと、鳥栖市若葉小の保護者らが「若葉つ子防犯ビデオ」を制作した。児童や地区住民などが迫真の演技で出演。「一人では遊ばない」など四つの約束や危険な目にあつたときの対処方法など、子どもたちに分かりやすい内容となっている。ビデオは市内の七小中学校に配布し、防犯教育に役立てている。
 ビデオを作ったのは、同小PTA会長の古川忠良さん(42)。大学時代に映画研究会に所属

この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。

20年目のガタリンピック

◎：有明海の干潟で泥まみれになって競技を繰り広げる「第二十回鹿島ガタリンピック」が五月三十日、鹿島市の七浦海浜スポーツ公園であった。まちおこしのイベントとして、鹿島のアピールを続けて二十年。今年も泥しぶきを上げる選手たちが、約二万六千人の観衆を魅了した。
 「有明海で正々堂々とガタまみれになることを誓います」。二十回大会にちなんで、二十歳の永浦光一郎さん



村田英雄記念館オープン

◎：「王将」「人生劇場」などの大ヒット曲で知られ、一昨年六月に七十三歳でなくなった演歌歌手・村田英雄さんの記念館が、出身地の相知町にオープンした。
 同記念館は、中心商店街の銀行跡を利用して町観光協会が設立した。鉄筋平屋建てで約百二十平方メートルで、事業費は約千二百万円。館内には、ステージ衣装やパネル写真、愛用品など約二百点を展



米焼酎「こりやよか」を発売

◎：唐津小売酒販組合青年会(勝山広孝会長、十一人)が、プライベートブランドの

焼酎「こりやよか」を発売した。米焼酎に粕取焼酎を少量加えた商品で、唐津市と東松浦郡内の十四店舗でしか買えない限定品として販売を始めた。
 こりやよかは、七百二十ミリリットル入り千五百円。米が主体で昔ながらの製法で作った粕取焼酎を七割加えた。粕取焼酎特有の香りがほのかにあり、飲み口はさらりとしていてという。アルコール度数は二十一度で「ロックで飲むのにちょうどいい」との声が多い(同会)。
 小規模小売店は、販売価格の低下や、酒類免許の免許制から許可制への移行で異業種からの参入が増え、経営が厳しいのが現状。このため、同会とOB会員八人が、生き残りをかけ、一年ほど前から開発に取り組んだ。
 試飲中に粕取焼酎7%入りのものを飲んだメンバーが「こりやよか」と発言、それがそのまま商品名になった。年間販売数は二千本。問い合わせは鳴滝酒造、電話0955(74)3125へ。

岩松小児童、祇園川を清掃
 ◎：「ホタルの里」の環境を守るうと、小城町の岩松小の全校児童三百二十三人が、ゲンジボタルの生息する学校そばの祇園川を一斉清掃した。名付けて「祇園川クリーン作戦」。保護者や地域住民らも、応援に駆けつけた。
 清掃の前に、「とべとべホタル集会」を開催。「ふるさと」の祇園川と美しいホタルの光を、私たちの手で守り続けよう」と、児童たち全員でスローガンを読み上げた。
 クリーン作戦では、一年



佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

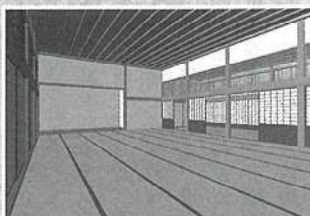
佐賀県だより

●日本近代化の先駆け幕末維新期の佐賀●

その舞台が今によみがえる

佐賀県立 佐賀城本丸歴史館

平成16年 8月1日 開館



【外御書院一之間】



【外御書院二之間・三之間・四之間】



今夏8月1日、佐賀市の佐賀城本丸跡地に幕末・維新期の佐賀の歴史の検証と文化情報の発信を推進する施設「佐賀県立佐賀城本丸歴史館」が誕生します。

この歴史館は、166年前に建てられた佐賀城本丸御殿の一部を忠実に復元したものであり、本丸御殿の復元としては日本初、木造復元建物としては日本最大規模となる2,500㎡を誇ります。そしてその中では、佐賀城の変遷と本丸御殿の復元過程の紹介をはじめ、藩政改革、教育改革、時代を先導した近代科学技術の導入など、さらには鍋島直正、大隈重信、江藤新平など佐賀が輩出した多くの偉人たちを紹介する展示を通じ、日本の近代化に貢献した「幕末・維新期の佐賀」をわかりやすく御紹介します。

多くの来館者をお迎えし、復元された空間の中で、変革の時代を生きた人々のエネルギーと佐賀の魅力を体感していただきたいと思います。是非御来館ください。

編集デスク

平成十六年度総会号をおとどけいたします。今回も総会記事は水間理事に協力いただきました。佐賀県知事古川康さんより市町村合併に関する佐賀県内の状況の報告がありました。いよいよ十七年三月に向け動き出した様です。

この度の総会で就任されました新しい理事・監事の挨拶をいただきました。県人会の益々の発展のため、ご活躍下さいます様よろしく願っています。

情報センターより「佐賀県立佐賀城本丸歴史館」誕生の記事・写真をいただきました。是非お出かけ下さい。

「佐賀県だより」の記事・写真については、佐賀新聞社さんから提供いただきました。毎回のご協力ありがとうございます。(一)

会報むつごろ

平成16年7月31日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎ 092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎ 0955-23-5214